



「医療専攻」便り

新潟県立三条東高等学校 Vol. 4 (令和8年3月31日)

2年生は、3月の発表会に向け、スライド作成などの準備をさらに進めています。
1年生の医療専攻の活動も始まり、2年生、1年生ともに活発な活動に励んでいます。

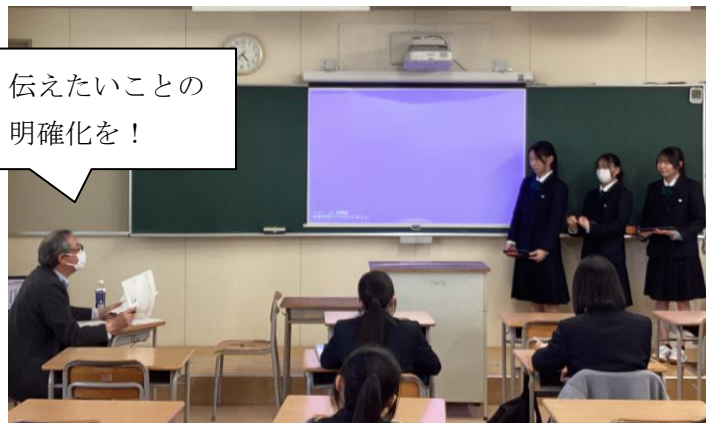
● 2年生学習会⑫～⑯ 研究テーマの探究学習（発表会準備）

1/22（木）、2/19（木）、2/26（木）、3/19（木）、16:05～17:05 3/23（月）11:30～14:30

目前に迫った3月の発表会に向け、班ごとにテーマの再考、内容の精査、スライドや発表原稿作りに励んでいます。
連携先である新潟薬科大学の先生、生徒さんやさんぼうさんにいただいたアドバイスを参考に、わかりやすく、伝わりやすい発表になるよう探究学習のまとめに取り組んでいます。



学習会⑫、⑬、⑮ 担当の先生と相談し、スライドについて検討中

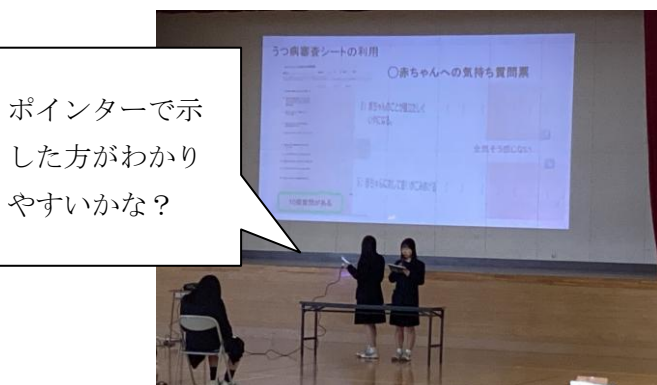


伝えたいことの
明確化を！

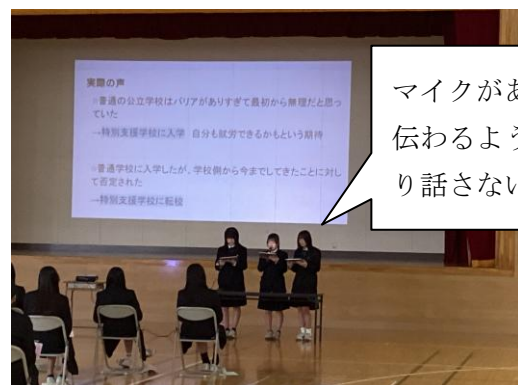


グループで作るから、みんなで議論できる。参加しないなんてもったいない！

学習会⑭ プレ発表を行い、さんぼうさんからアドバイスをいただきました。



ポインターで示した方がわかりやすいかな？



マイクがあっても、伝わるようにはっきり話さないだね。

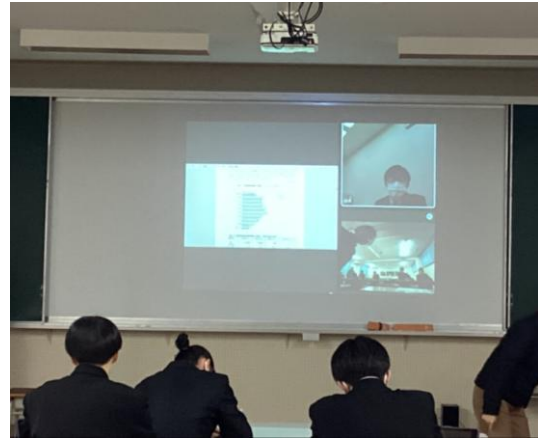
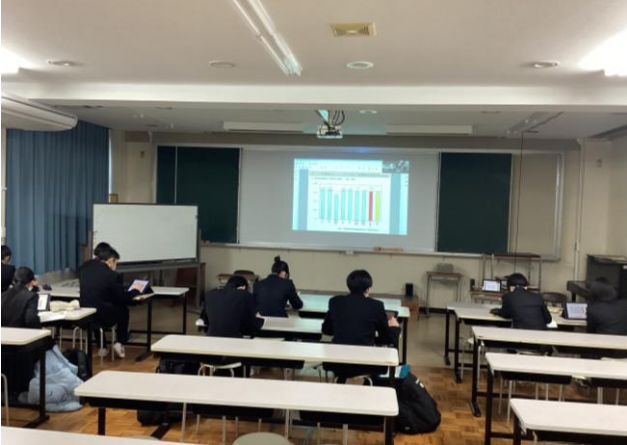
学習会⑯ 発表会直前リハーサルを行い、発表内容や発表手順の確認をしました。

● 1年生医療専攻講演会② 2月5日(木) 16:00~17:00

演題①「看護職に関心のある高校生が知っておくべきこと」

講師 新潟県福祉保健部 医師・看護職確保対策課 中野 様

新潟県福祉保健部の中野様より、新潟県の看護・医療の現状についてお話いただきました。医療従事者になるために、高校生の時期に知っておくべきことや、新潟県の現状についてわかりやすくお話いただきました。



「医療従事者は増え、全国平均よりは多いが、全国30位で、決して多くはなく、不足しているのが現状です。」



質疑応答の様子①



質疑応答の様子②

<質疑応答>

質問 60歳まで働けるようになったというスライドが出ていましたが、実際に60歳まで働いている人や60歳以上で働いている人はどれくらいいるのですか？

回答 看護師のうち、60~64歳の人が占める割合は6.7%、65歳以上は3.9%で、合わせると10.6%です。看護師の中で約1割になる計算です。60歳以上で経験豊富な看護師を「プラチナナース」いいます。離職せず、長く働き続けることができるよう、さまざまなサポートを考えていきます。

質問 病院はチームプレイというお話でしたが、人が少ない現状で、病院はきちんと機能するのでしょうか？

回答 人が少ないからこそ、チームでやっていくことが必要になります。今後のために、若い皆さんの力をかしていただきたいです。

<生徒お礼のあいさつ>

新潟県における看護・医療従事者は、地域によるかたよりが多く、特に県央地区は従事者が少ないことをまなびました。そのような現状を知って、だからこそ頑張りたいと思いました。今日は貴重なお話ありがとうございました。

●医療専攻発表会 3月25日(水) 13:30~15:00 三条東高校 第一体育館

1年間の学びの総まとめとして、医療専攻発表会を行いました。新潟県教育庁 高等学校教育課 指導第1係 指導主事 丸山 篤志様をはじめ、9名の来賓の方に来校いただき、ご指導・ご助言をいただきました。

プログラム

1 校長挨拶

2 来賓紹介

3 グループ別発表

司会： 前半・・・石坂美結・鈴木虹美
後半・・・武石萌々・清水大杜

① 2班「新潟県の医療格差を減らすために」
堀内創太 清水大杜 河村悠杏 宮島花



② 1班「看護師の在り方の変化」
久住怜香 永井杏奈 武石萌々



③ 6班「在宅患者の生活の質（QOL）向上を実現させるためには」
小林由依 小林璃音 佐藤梨奈



④ 5班「医療的ケア児の受け入れとその家族の負担を減らすには」
石坂美結 澁谷弥妃菜 鈴木虹美



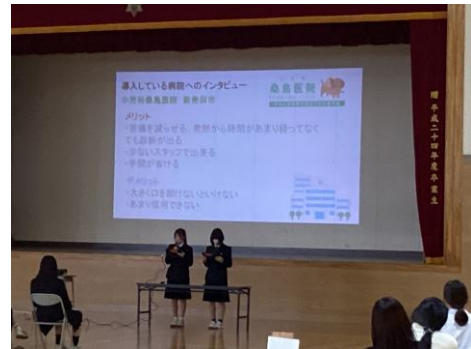
⑤ 4班「NICUの新生児の家族に対するメンタルケアはどうあるべきか」

角田花羽 佐藤柚葵



⑥ 3班「医療従事者不足を解消するためにAIなどの最先端技術は有効か」

丸谷百桃 早川美優



4 質疑・応答

5 講評

来賓の4名の方より、ご講評いただきました。

新潟県教育庁 高等学校教育課 指導第1係 指導主事 丸山 篤志様より

「高校生らしい意欲あふれる発表でした。コミュニケーションの大切さを感じながら、調べたことをさらに深掘りしていく主体的な姿が感じられました。今後の進路や来年に向けて、さらによくしていくためには、自分の生活につなげ、自分事としてどう考えていくのか、というのが今後の課題ではないでしょうか。」



6 生徒代表挨拶（堀内創太）

「この1年間の学びをとおして、人と一緒に何かをやることの大変さと必要性を強く感じました。学んだことを今後につなげていきたいです。ありがとうございました。」



今年度も多くの皆様にご協力いただきながら、医療専攻の学びを深めてまいりました。医療の専門家の方や現場に携わる方のお話を直接聞き、最前線の施設や機器を実際に見て触れることは、将来の医療従事者を志す生徒たちにとって非常に貴重な経験でした。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

そうした経験をもとに生徒たちは、自ら見いだした医療の課題に向き合うことに挑戦いたしました。医療の実情に対して十分な知識を持たない生徒たちにとって、その挑戦は苦難の連続でした。締めくくりとなる発表会を迎えても、目指すべき課題解決までたどりつけていないと思います。しかし、この課題解決へ向けてより一層の努力が必要であるということ、身をもって知ることができたことが重要であり、新たな志を持つよい機会になったと考えております。この経験を糧に、生徒たちがさらに成長し、将来地域の医療を支える人材として活躍してくれることを心から願っております。